

○議長（長澤健君）

続いて通告８番 ７番 成田守君の一般質問を行います。

７番 成田守君。

○７番議員（成田守君）

早速、質問に入らせていただきます。

まず第１にですね、青柳宿迫分館について質問をいたします。この迫分館のことについてはですね、随分と議論をされて最終的には、今引き受けていただいている方のところで、再開するということに落ちついたわけであります。それで近年ですね、この界限を通ると、町の人からどうなっているんだという質問がたくさんありましたので、おそらく当局の方には計画、その他のものが出てくると思いますので、その中での、いわゆる進行状況と言いますか、現状をまず聞かせてもらえればと思います。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

それでは成田議員の青柳宿迫分館についてのご質問にお答えいたします。

青柳宿迫分館は、平成３１年１月に民間事業者の公募を行い、選定委員会から管理運営候補者が報告されたことから、令和元年８月に青柳宿迫分館施設貸付管理活用事業基本協定書を締結したところであります。

事業者は、当該施設の持つ旧家の趣きを活かした食事や催し物、集会場所の提供により、地域コミュニティが活性化するよう事業展開に向けて、昨年からの施設及び園庭の整備に取り組んでおり、計画どおり進捗をしております。

本年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により。集客が望めないことから、引き続き施設などの環境整備を行うとともに食事の提供も含めた憩いの場所づくりや催し物の開催に向けた準備を行い、明年度中の開店を予定をしております。

○議長（長澤健君）

７番 成田守君。

○７番議員（成田守君）

ただいま明年度中からですね、関連質問で明年度中に開設するというよう返答がありましたけれども、具体的にはいつ頃というか何月とか夏とか秋とか、ざっくりのところでいいんですけども、そういうことはどうですか。聞いていませんか。

○議長（長澤健君）

産業振興課長 遠藤悦美さん。

○産業振興課長（遠藤悦美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。時期的には夏頃ということを知っています。

○議長（長澤健君）

7 番 成田守君。

○7 番議員（成田守君）

それでは、ただいまのいつ頃ということで、夏頃という回答いただきましたので、そのとおり実行していただければ大変有難いと思います。

それでは2 番の自治会の活性化についてということで、質問をしたいと思います。私も2 年間、2 年ちょっとの間議員をさせていただいて、町の活性化とか町の人の生活の基盤のほとんどが、いわゆる地域であるという認識に至りました。

ところが、その地域の中では、先ほど秋山議員から報告あったように、災害なんかではかなりの町の人意識があるところもあれば、そうでないところもあるということで、ほとんどの町の人参加できるような、そういう自治会でないと、いざという時には町としてはどうなのかなというような疑問を持たざるを得ないところがあります。

それで自治会のことですから、行政がとやかく言うことについての問題はあるんでしょうけれども、やはり地域を活性化していくためには、行政が引っ張っていかないとかならないというようなことでは駄目なんでしょうか。そのあたり町として、どういうことを地域の活性化という形で考えておられるのか、それを聞かせていただきたいと思います。

○議長（長澤健君）

財務課長 早川竜一君。

○財務課長（早川竜一君）

ただいまの自治会の自主的参加に対する、町の方策ということについてお答えをさせていただきます。町が活性化するためには、最も身近な住民組織である自治会の活性化が重要であると考えております。自治会は、日頃から親睦と交流を通じて連帯感を強め、地域で共有するさまざまな課題を協力して解決する役割を担っています。こうしたことから町では、「地域がやるべきこと」「行政の支援を受ければ地域でできること」「行政が進めること」を地域と一緒に考えて、町民との協働による町政を推進しているところであります。

今後も、地域が主体的に行う活動を支援する地域力創造交付金の交付や自治会への加入を促進する取り組みを行い、地域の活性化につながる町民の自主的な活動を支えて参りたいと考えております。

○議長（長澤健君）

7 番 成田守君。

○7 番議員（成田守君）

ただいまですね、当局の方の見解を聞きましたので、もっともその通りだと思います。ただですね、これをやるに当たっては、やはり具体的にどういう形で町の人と接する、どういう形で地域と個人とが接する、そういうような具体的な動きの中でなければ、ただ単に共助だとか自助だとか言ってみたところで、本当にそれができるんだらうかというような疑問もあるわけです。

それで、これは要望です。要望言っちゃいけないんですけど、やっぱり町長も積極的にですね、町民の中に入って、言いたいことは言う、やりたい事はやる。そうでなければ、ただ単にその議論の上で話をしているのであれば、本当の意味で町民の生活とか生命、安全が守れるのか。時と場合によってはですね、やはり町が積極的な動き方をする。そういうことで富士川町の町民を守っていく。そういう方向にしてもらいたいと思います。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（長澤健君）

以上で通告 8 番 7 番 成田守君の一般質問を終わります。